

令和2年度事業報告書

1. 事業の概要

当財団では、公益法人制度の改革に伴い、平成25年7月1日に移行登記を完了して、一般財団法人川合京都仏教美術財団として新たな第一歩を踏み出しました。それまでの24年間の財団法人川合芳次郎記念京都仏教美術保存財団の実績を継承し、新しい定款に基づいて、京都府内の貴重な文化財の保存修理に対する助成金の交付と、財団が所有する歴史遺産の良好な保存管理、調査、公開などの事業を進め、文化財所有者に対する援助や関係諸機関への協力などを通じて、今後も京都府内の文化財保護事業に一定の役割を果たして参ります。

令和2年は、当財団を20年あまり牽引して来られた川口 融氏が理事長を退任され、新たに川合陽雄氏が就任するという節目の年になりました。「発足以来の精神に基づく活動が、心のより豊かな社会を育むことにいささかなりとも貢献出来ることを願って、これからも進んで参りたい」とホームページで披瀝した新理事長の決意のもと、気持ちも新たに、当財団の持つ社会的責務を果たすべく、事業を継続し、充実させることに尽して参ります。

2. 会議の開催

(1) 令和2年度第1回理事会の開催

令和2年度第1回理事会は、令和2年6月6日(土)の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染防止のために会議の開催を断念し、当財団定款第32条第2項の規定により会議による決議を省略して、書面によって議決することとしました。

①決議があったものとみなされた事項の提案者 専務理事 片岡 肇

②決議があったものとする日 令和2年6月10日(水)

③決議があったものとする事項

(1)令和元年度に係る事業報告及び計算書類について承認する

(2)令和元年度に係る公益目的支出計画実施報告書について承認する

(3)令和2年度第1回評議員会の招集の決定について承認する

④報告及び承認された事項

(1)報告事項－代表理事・業務執行理事の職務の執行状況

(2)承認事項－①理事選任候補者の推薦

②監事選任候補者の推薦

⑤決議についての同意書への署名 理事総数7名中7名

⑥決議についての承認書への署名 監事1名中1名

(2) 令和2年度第1回評議員会の開催

令和2年度第1回評議員会は、令和2年6月23日(火)の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染防止のために会議の開催を断念し、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第194条に基づき、会議による決議を省略して、書面によって議決することとしました。

①決議があったものとみなされた事項の提案者 理事長 川口 融

②決議があったものとする日 令和2年6月25日(木)

③決議があったものとする事項

に修理が完了して所有者に戻されているなどで、調査を見送りました。

4) 令和2年度文化財修理助成金交付内容の確定

事務局による交付申請書の精査と理事らによる修理状況の調査に基づき、理事会の議決を経て、申請のあった10件のいずれも「助成相当」と判断し、令和2年度の助成を、以下の10件、2,420,000円と確定しました。

1. 京都市指定文化財	紙本墨画雲龍図 海北友松筆	6曲1隻	300,000円
2. 京都市登録文化財	方丈障壁画 狩野山雪筆	5面	40,000円
3. 国 宝	木造阿弥陀如来坐像	1軀	300,000円
4. 重要文化財	「勅撰和歌集」「私家集」ほか	2帖/15冊	300,000円
5. 京都府指定文化財	報恩寺本堂障壁画 塩川文麟筆	8面	200,000円
6. 重要文化財	「八瀬童子関係資料」のうち 文書・記録類	26点	300,000円
7. 重要文化財	紙本墨画山水図 伝等顔筆	6面	300,000円
8. 重要文化財	板絵著色神像	2面	80,000円
9. 京都府指定文化財	慶長七年丹後国検地帳	4冊	300,000円
10. 京都府指定文化財	絹本著色日吉山王垂迹神曼荼羅	1幅	
	絹本著色日吉山王本地仏曼荼羅	1幅	300,000円

5) 令和2年度文化財修理助成金の支払い

各申請者に対する支払い(10件、2,420,000円)は、4月14日に完了しました。

(3) 情報公開について

◇ホームページ関連ー公益財団法人 京都高度技術研究所(ASTEM)

(1) 令和2年4月28日

- ①「情報の公開ー開示」の更新(「事業計画書(平成31年度)」及び「収支予算書(平成31年度)」を削除し、「事業計画書(令和2年度)」及び「収支予算書(令和2年度)」に更新)
- ②「助成の実績」の更新(「これまでの助成実績」に令和元年度分を入れて更新)
- ③「助成の実績」の更新(「過去5年間の実績」の平成26年度分を削除し、令和元年度分を追加)

(2) 令和2年8月12日

- ① 川合陽雄新理事長の挨拶文掲載(冒頭)
- ②「情報の公開ー公告」の更新(「貸借対照表(平成26年度)」を削除し、「貸借対照表(令和元年度)」を追加)
- ③「情報の公開ー開示」の更新(「事業報告書(平成26年度)」を削除し、「事業報告書(令和元年度)」を追加)
- ④「川合京都仏教美術財団役員名簿」を更新

(4) 令和2年10月7日

- ①「お知らせ」令和2年度の旧燈明寺収蔵庫の公開について

(5) 令和2年12月8日

- ①「お知らせ」更新(「令和2年度の旧燈明寺収蔵庫の公開について」を削除)
- ②「お知らせ」更新(「令和2年度の旧燈明寺収蔵庫の公開が終了しました」を掲載)
- ③「お知らせ」更新(「令和2年度の文化財修理助成金の申請を受け付けています」を掲載)

(4) 文化遺産の保存活用等

◇木津川市加茂町所在の遺跡地関連

1)維持管理

(1)草刈り・剪定等

- ①旧燈明寺境内地の草刈り(年3回実施/5月15日・7月20日・10月15日)
- ②旧燈明寺境内の危険木の伐採と枝払い(4月20日～22日)
- ③旧燈明寺境内地の庭木の剪定及び周辺の市道の樹木の枝払いの実施(9月15日)

(2)維持管理業務の委託

旧燈明寺境内地全域の状況と建物の内外の状況の確認及び境内地の草刈りや庭木の剪定作業への立会い等の維持管理の業務について、令和元年9月17日にNPO法人「ふるさと案内・かも」と「管理委託契約」を締結し、毎月1回の維持管理作業を同年10月からお願いしております。今年度においても、維持管理業務は毎回ほぼ3名の同法人会員によって、誠実かつ的確に遂行されており、その内容等については、毎作業終了後に「日報」の提出をもって報告されています。

(3)「旧燈明寺」案内板の新調

石段下の北側に設置されている旧燈明寺の案内板の劣化が著しいため、その上にアルポリ看板による案内板を貼り付ける形で、新たな案内板を令和2年10月25日に設置しました。

2)文化財の活用

①収蔵庫の公開等

木津川市観光協会主催の「2020 秋 木津川市秘宝・秘仏特別公開」に協賛して、旧燈明寺の収蔵庫の公開を10月31日(土)から4日間実施しました。

◇公開期間 令和2年10月31日(土)、11月1日(日)、2日(月)、3日(火・祝)

午前10時から午後4時まで

◇公開内容 ・木造千手観音立像/木造十一面観音立像/木造不空罽索観音立像/木造聖観音立像/木造馬頭観音立像/不空罽索観音像内納入品(木造合体天部形立像 2点/観音像造立奉加結縁交名)

(以上、鎌倉時代、京都府指定文化財)

・「東明寺」銘軒丸瓦(室町時代)

・庫裏棟札(寛文12年)/「東明寺縁起」(元禄9年)/「拾遺都名所図会」卷之四(天明7年)/南山城三十三所観音霊場額(天保7年)

◇来場者数 10月31日(土)－23名、11月1日－40名(日)、2日(月)－3名、3日(火・祝)－53名
合計 119名

◇監視・案内業務の委託 公開期間中の監視及び案内等の業務を地元のNPO法人「ふるさと案内・かも」に委託しました。

◇周知について

- (1)木津川市観光協会「美仏の宝庫 京都府木津川市」(A4版、14頁)への掲載
- (2)木津川市観光協会ホームページへの掲載
- (3)当財団ホームページへの掲載

◇感染症対策について

- (1)コロナ禍の状況下での公開については難しい判断でしたが、木津川市観光協会を通じて他の社寺の取り組み状況等を確認して、十分に感染症対策を講じた上で実施しました。

(2) NPO法人「ふるさと案内・かも」の事務局長から提案のあった「旧燈明寺公開の感染症対策」の提案をベースにして検討・協議の結果、スタッフ用の「旧燈明寺収蔵庫公開に伴う感染症対策一見守り用マニュアル」と来場者用の「新型コロナウイルスの感染症対策にご協力をお願いします」を作成しました。

スタッフ用には、公開中の感染症対策のあり方や来場者の誘導の手順や注意事項等を記し、対応の仕方を徹底しました。一方、来場者用には対策のための来場者へのお願い事項を列挙し、下半の感染拡大防止のための「名簿」に連絡先を記入し提出してもらいました。

(3) 収蔵庫の入口ではマスクの着用と手指の消毒を促し、不所持の人のための予備のマスクを用意するなど、感染予防に留意しました。その結果、4日間の公開を特に問題無く終了することが出来ました。

②パンフレット「旧燈明寺の歴史と文化財」(A5版、二つ折り、4頁)の作成について

1) 経過－毎年秋の収蔵庫の公開時には、来場者に「旧燈明寺の歴史」(A4版両面刷り)を配布して来ました。しかしこれは手刷りでやや大判でしたので、新たにより鮮明でコンパクトなものを作成することにしました。

令和元年9月頃から田中淳一郎理事を中心に構想を練り草稿を作成し、片岡肇理事も加わって原稿や写真等の検討を重ねました。令和2年9月、最終案に至り、仏像に関する記述を中心に根立研介理事の確認を経て、10月初旬に(株)創栄図書印刷に入校し、2度の校正を経て10月21日に完成し、2,000分が納入されました。

2) 内容の概要－第1頁「旧燈明寺の歴史」、第2～4頁「旧燈明寺に伝わる文化財」(観音像/建造物－本堂と三重塔、庫裏/その他の文化財－『拾遺都名所図会』巻之四、南山城三十三所観音霊場額/収蔵庫など)、コラム「一日で造られた仏像」

4. 資金運用

- 1) 「三菱UFJフィナンシャルグループ 第8回期限前償還条項付無担保社債」5千万円については、7月末に期限前償還され年度末現在は普通預金として保有しております。当該普通預金の今後の運用については慎重に検討をして参ります。
- 2) その他の資金運用については前年度と変わりはなく、新たな購入等はありませんでした。

5. その他

1) 理事長の交代について

- (1) 6月25日の令和2年度評議員会(書面)において川口融氏が理事及び理事長を退任
- (2) 同日の令和2年度第2回理事会(書面)において新理事長に川合陽雄氏を選任

2) 理事長交代に伴う手続きなど

- (1) 役員異動登記
- (2) 公益目的支出計画等(代表理事の変更)届手続き
- (3) 各金融機関に対して理事長交代に伴う手続き
- (4) 理事長交代挨拶状を関係方面に送付
- (5) ホームページの更新(新理事長の挨拶文掲載/役員名簿改訂)